

製品名: Snrp116 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18064**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	109kDa

抗原情報

遺伝子名	EFTUD2
別名	EFTUD2; KIAA0031; SNRP116; 116 kDa U5 small nuclear ribonucleoprotein component; Elongation factor Tu GTP-binding domain-containing protein 2; SNU114 homolog; hSNU114; U5 snRNP-specific protein; 116 kDa; U5-116 kDa
遺伝子 ID	9343.0
SwissProt ID	Q15029
免疫原	抗血清はヒト EFTUD2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 321-370

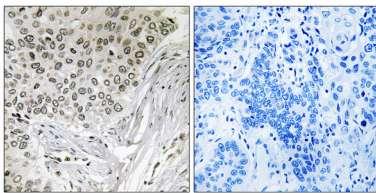
背景

この遺伝子は、前駆体 mRNA を処理して成熟 mRNA を生成するスプライソソーム複合体の構成要素である GTPase をコードします。この遺伝子の変異は、小頭症を伴う下顎顔面骨形成不全症と関連しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2012年4月]機能: pre-mRNA スプライシングに必要な U5 snRNP 複合体の構成要素。PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化される。類似性: GTP 結合伸長因子ファミリーに属する。EF-G/EF-2 サブファミリー、サブユニット: スプライソソーム C 複合体に同定され、少なくとも AQR、ASCC3L1、C19orf29、CDC40、CDC5L、CRNKL1、DDX23、DDX41、DDX48、DDX5、DGCR14、DHX35、DHX38、DHX8、EFTUD2、FRG1、GPATC1、HNRPA1、HNRPA2B1、HNRPA3、HNRPC、HNRPF、HNRPH1、HNRPK、HNRPM、HNRPR、HNRPU、KIAA1160、KIAA1604、LSM2、LSM3、MAGOH、MORG1、PABPC1、PLRG1、PNN、PPIE、PPIL1、PPIL3、PPWD1、PRPF19、PRPF4B、PRPF6 から構成されます。PRPF8、RALY、RBM22、RBM8A、RBMX、SART1、SF3A1、SF3A2、SF3A3、SF3B1、SF3B2、SF3B3、SFRS1、SKIV2L2、SNRP A1、SNRPB、SNRPB2、SNRPD1、SNRPD2、SNRPD3、SNRPE、SNRPF、SNRPG、SNW1、SRRM1、SRRM2、SYF2、SYNCRIP、TFIP11、THOC4、U2AF1、WDR57、XAB2、ZCCHC8。GTP に結合し、PRPF8 と相互作用します。

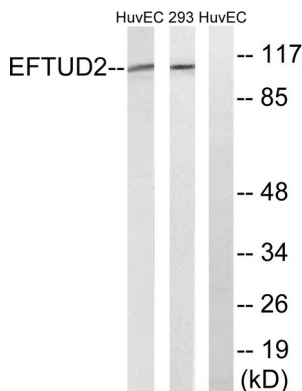
研究分野

スプライソソーム;

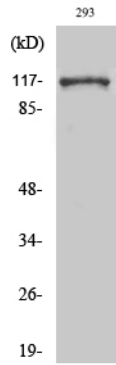
画像データ



EFTUD2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



EFTUD2 抗体を用いた 293 細胞および HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Snrp116 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタン ブロット分析。